

# GINGA REPORT 401

No. 86  
2022.07

そらんぼ四日市 検索

発行日：令和4年7月1日  
編集&発行：四日市市立博物館・プラネタリウム  
電話：059-355-2700

## 7月の星空

星図：ステラナビゲータ11/(株)アストロアーツ

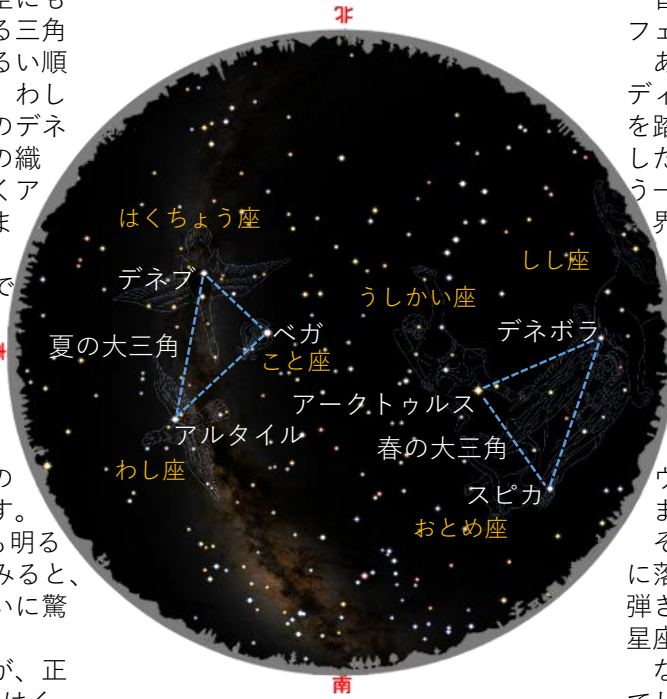
### 一等星の明るさ

春の大三角と同様に、夏の夜空にも星を結んで夏の三角と呼ばれる三角形を見つける事ができます。明るい順にご紹介すると、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブです。一番明るいベガは七夏の織姫、天の川を挟んで反対側に輝くアルタイルは彦星とも呼ばれています。どの星も明るい一等星です。

ちなみに、21ある一等星の中で一番明るいのは、冬の夜空で見られるおおいて座のシリウス、一番暗いのがしし座のレグルスです。一等星というのは1等級以上(1、0、-1...等※)の星をすべて含むため、同じ一等星の中でも明るさの違いが生まれます。また等級が1上がると、約2.5倍も明るくなるため、実際の空で比べてみると、同じ一等星でもその明るさの違いに驚いてしまうかもしれません。

夏の大三角はみな一等星ですが、正確な等級はこと座のベガが0等、はくちょう座のデネブが1等と、大きく異なります。明るさに注目して星を眺めるのも面白いかもしれませんよ。

※星は等級が5、4、3、2、1、0、-1...と数越小くなればなるほど明るくなります。



7月15日21時の星図

### こと座の悲しい恋物語

音楽と芸術の神、アポロンの子オルフェウスは豎琴の名手でした。

ある日オルフェウスの妻、エウリディケは森の中で草むらにひそむ毒蛇を踏んでしまい命を落としてしまいました。そこで、オルフェウスは妻をもう一度死の世界から取り戻そうと、冥界のハデスの元を訪れます。そしてハデスは地上に出るまでは決して後ろを振り向かないという条件で、エウリディケを彼に返す事を約束しました。しかし、地上に戻るあと一步の所でオルフェウスは後ろを振り返って妻の姿を見てしまったのです。するとたちまちエウリディケは冥界に引き戻されてしまいました。

そして妻を失ったオルフェウスも河に落ちて命を落としてしまいました。弾き手がなくなった琴はそのまま天で星座になったと言われています。

なぜオルフェウスは後ろを振り返ってしまったのか、嬉しさのあまり我を忘れて後ろを振り返ったのか、あと一步だけにととても悲しいお話ですよ。

## 今月の天文トピック

### さまざまな望遠鏡で変わりゆく宇宙観

今から2400年ほど前の古代ギリシャでは「宇宙の中心は地球」というアリストテレスの宇宙観が信じられていました。真の科学的宇宙観「地動説」へと移り変わるきっかけを作ったのが16~17世紀に登場したコペルニクス、ガリレオ、ケプラー、ニュートンでした。そして科学を生み出す原動力の一つとなったのがこの時代に登場した望遠鏡だったのです。望遠鏡の歴史を遡ってみると、完成に至るまでの科学者達の努力を知る事ができます。

そして時代が進み色々な望遠鏡が開発されてきた中で、アルマ望遠鏡などの電波観測の成果は特に大きな話題になっています。電波は宇宙空間に浮いているダストなどの影響を受けにくいので、さらに深い宇宙を観察する事ができるのです。こうした望遠鏡の存在がなければ今とはまた違った宇宙観になっていたかもしれないと思うと、とても感慨深いですね。

### 宇宙塾 ※詳細は当館HPで

7月2日(土)「アルマ望遠鏡が見た最深の宇宙」  
国立天文台天文情報センター 平松正顕氏(リモート出演)



©ALMA (ESO/NAOJ/NRAO)

## 博物館主催 スターウォッチング

### 博物館主催きらら号観望会

日時：7月30日(土) 20:00~21:30  
場所：博物館前市民公園  
内容：夏の星をさがそう



※当日受付・参加無料です。  
※天候不良時は中止です。(通常3時間前に決定します)  
※マスク着用、手指消毒、観望会受付票の記入をお願いいたします。

## 編集後記

梅雨が明けると、晴れ間も増え星空観察しやすい日が多くなってきます。7月30日には博物館前市民公園でスターウォッチングのイベントを開催します。天体望遠鏡を使って星空を見ると、肉眼で見るとはまた違った感想や発見があるかもしれません。夏の夜空にはいったいどんな星が輝いているのか、一緒に探し観察してみませんか？

## 7月の月

7日  上弦

14日  満月

20日  下弦

29日  新月